

はらっぱ おばけ

大石 真 作
西川おさむ 絵



はらっぱおばけ

大石 真

あかね書房 1978

77P 22cm あかね幼年どうわ 13



あかね幼年どうわ 13

はらっぱおばけ

一九七八年十二月五日第二刷

作者*大石 真*西川おさむ

発行者*岡本陸人

発行所*株式会社 あかね書房

郵便番号 一〇〇一

東京都千代田区西神田三二二一

TEL 東京 二六三一〇六四一(代)

振替 東京 三一六四一五〇

印刷所*株式会社 精興社

写植所*株式会社 田下フォト・タイプ

製本所*土開製本株式会社

© 1978 Printed in Japan

著者との契約により検印廃止

定価は表紙・カバーに表示してあります

落丁・乱丁本はおとりかえいたしません

はらっぱ おばけ

大石 真作

西川おさむ 絵





まさるの いちばん なかよしは
さとりくんです。

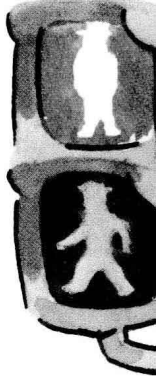
それで、まさるは まいにち さとりくんの
うちに あそびに いきますが、その
みちじゅんは こうです。

まず、まさるの いえの まえの みちを、
ひだりに むかつて あるきます。



すると、すぐに
かどに なって
いますから、
そこを ひだり
に まがります。



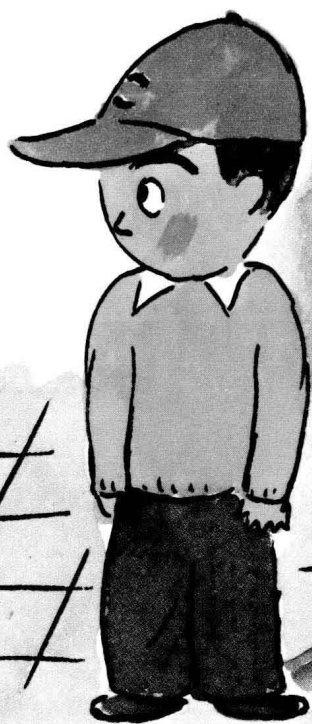


そして、
どんだん
いくと、

おおきな
みちに
ぶつかります。

そこは
おうだんほ
どうになっ
て、
いて、

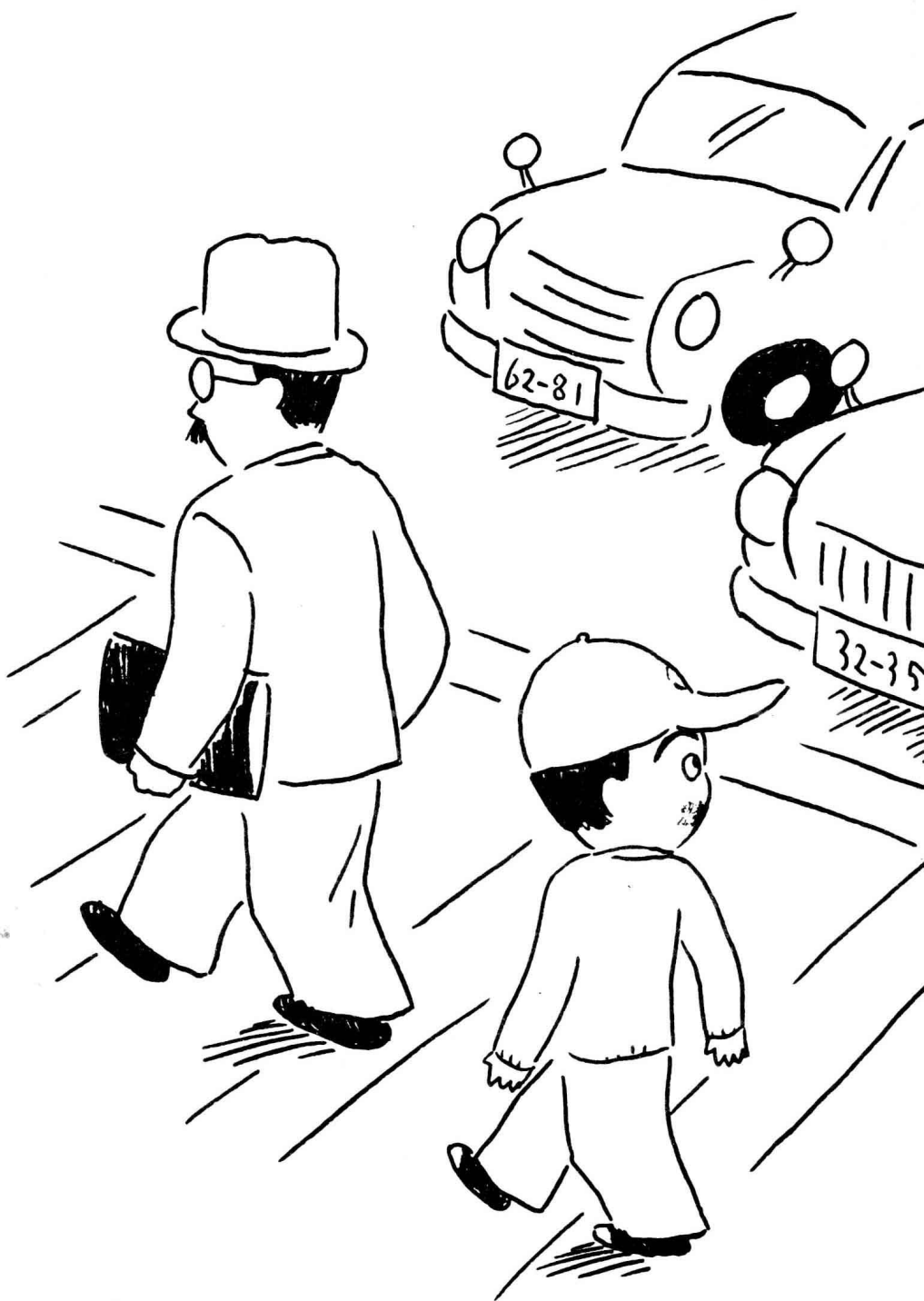
しんごうが
あります。



まさるは、しんごうが あおに
なると、
じどうしやに ちゅういしながら、
むこうがわ
に わたります。

むこうがわに わたると、いま、
まさるが
とおって きたのと そっくりの
みちが、
ずっと つづいて います。





その みを しばらく いくと、

じゅうじろが あつて、ひだりに

“うさぎやさん”と いう

ざつかてんが あります。

そこを みに まがつて

どんどん いくと、



うさぎや



みぎがわに、
さとるくんの
あるのです。

いえが





こう かくと、ずいぶん わかりにくい

ところに さとるくんの いえは

あるんだなあ——と、おもうかも しれません。

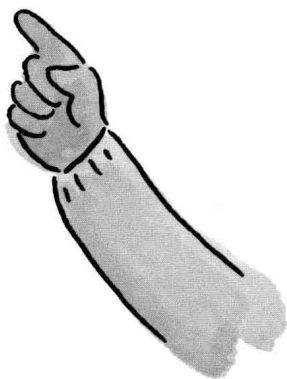
でも、そんな ことは ありません。

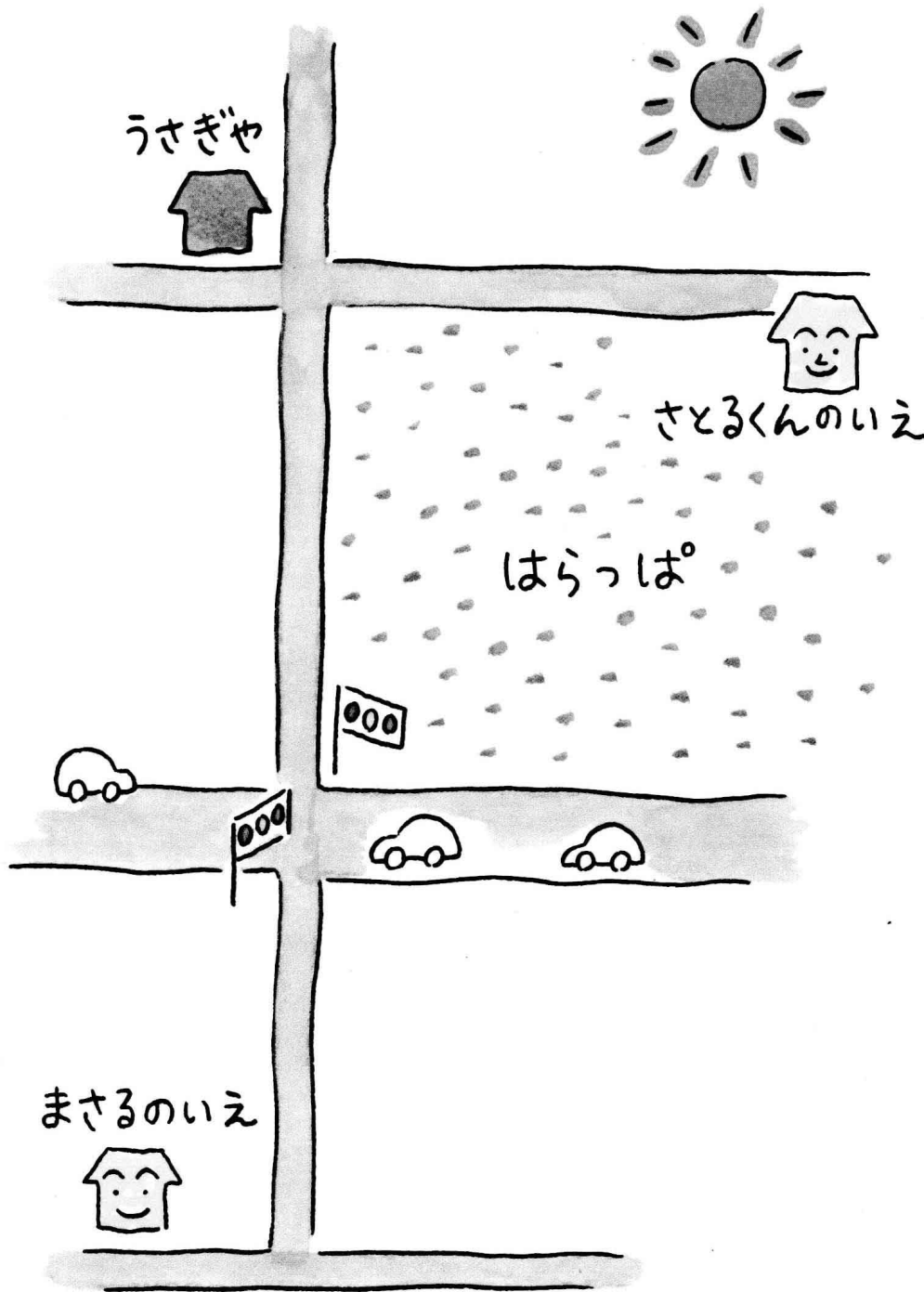
とても かんたんです。

ちずを みれば、すぐに

わかります。

ほらね。





さて、おうだんほどうを わたつて、

そのまま まっすぐに いき、うさぎやさんの
ところを みぎに まがる——とかきましたが、
まさるは そのとおりには いきません。

それより ちかみちが あるからです。

もう いちど、さっきの ちずを

みて ください。

おうだんほどうを わたると、みぎに、

ひろい はらっぱがあるでしょう。

まさるは、その はらっぱを ななめに

ずんずん かけて いくのです。

